



平成30年11月14日（水）

平成30年度第1回地域包括ケア検討会議 資料2



地域包括ケアシステムの構築に向けた 取組について

平成30年11月14日（水）

日進市健康福祉部地域福祉課



日進市の高齢化等について



【統計数値】

平成30年7月末日時点

総人口：90,254名

高齢者人口：17,954名、高齢化率：19.9%

①前期高齢者：9,207名（10.2%）、②後期高齢者：8,747名（9.7%）

【要介護等認定者数】 平成30年7月末日時点（※第1号被保険者）

区分	人数	構成比
要支援1	408名	15.1%
要支援2	488名	18.1%
小計	896名	33.2%
要介護1	509名	18.8%
要介護2	433名	16.1%
要介護3	290名	10.7%
要介護4	329名	12.2%
要介護5	244名	9.0%
小計	1,805名	66.8%
合計	2,701名	100.0%



(参考) 地域別 高齢化率・介護認定率等



平成30年7月末現在

地区名	①人口	②高齢者数 (65歳以上)	うち後期高齢者数 (75歳以上)	③介護認定者数	うち認知症 (Ⅱa以上)
日進市	90,254	17,954(19.9%)	8,747(9.7%)	2,701(15.0%)	1,627(60.2%)
赤池町	3,645	607(16.7%)	314(8.6%)	91(15.0%)	58(63.7%)
浅田町	5,010	913(18.2%)	456(9.1%)	151(16.5%)	96(63.6%)
梅森町	2,094	527(25.2%)	316(15.1%)	88(16.9%)	51(57.3%)
野方町	350	94(26.9%)	57(16.2%)	16(17.0%)	12(75.0%)
蟹甲町	368	140(38.0%)	78(21.2%)	27(19.3%)	19(70.4%)
折戸町	2,770	471(17.0%)	220(7.9%)	78(16.6%)	50(64.1%)
藤枝町	1,813	507(28.0%)	293(16.2%)	63(12.4%)	32(50.8%)
米野木町	4,017	1,414(35.2%)	717(17.9%)	204(14.4%)	126(61.8%)
三本木町	904	203(22.5)	101(11.2%)	32(15.8%)	22(68.8%)
藤島町	1,577	501(31.8%)	225(14.3%)	84(16.8%)	47(56.0%)
本郷町	680	219(32.2%)	105(15.4%)	31(14.2%)	22(71.0%)
岩崎町	9,585	2,468(25.8%)	1,255(13.1%)	418(16.9%)	249(59.8%)
岩藤町	1,021	360(35.3%)	167(16.4%)	38(10.6%)	24(63.2%)



(参考) 地域別 高齢化率・介護認定率等



平成30年7月末現在

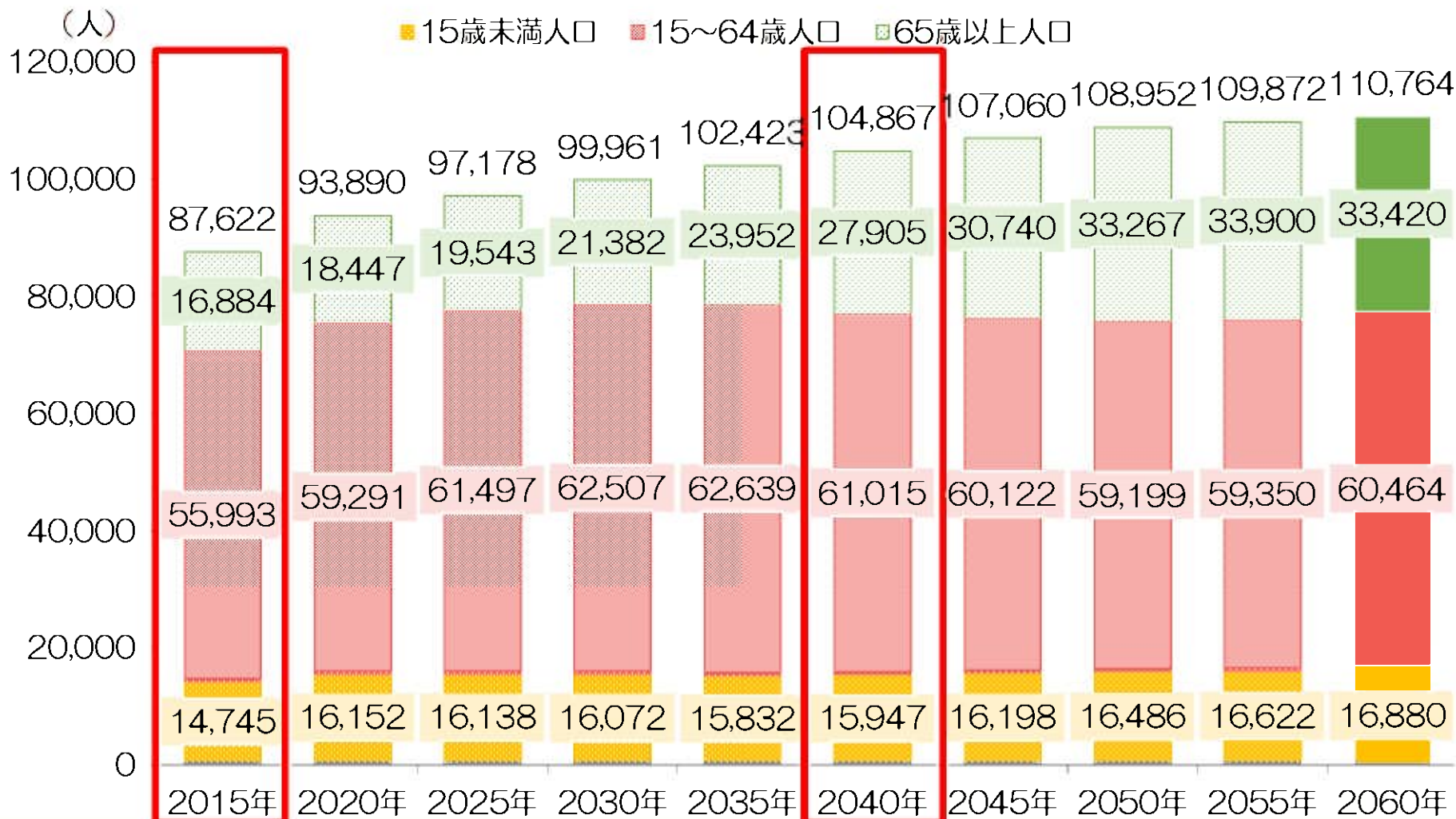
地区名	①人口	②高齢者数 (65歳以上)	うち後期高齢者数 (75歳以上)	③介護認定者数	うち認知症 (Ⅱa以上)
北新町	954	301(31.6%)	161(16.9%)	67(22.3%)	45(67.2%)
南ヶ丘	1,875	620(33.1%)	390(20.8%)	104(16.8%)	62(59.6%)
五色園	4,008	1,354(33.8%)	640(16.0%)	186(13.7%)	100(53.8%)
梅森台	2,799	653(23.3%)	293(10.5%)	83(12.7%)	48(57.8%)
東山	3,914	1,350(34.5%)	729(18.6%)	215(15.9%)	122(56.7%)
香久山	6,860	1,104(16.1%)	448(6.5%)	157(14.2%)	89(56.7%)
赤池	4,046	385(9.5%)	162(4.0%)	42(10.9%)	23(54.8%)
岩崎台	6,132	832(13.6%)	302(4.9%)	89(10.7%)	61(68.5%)
栄	7,715	760(9.9%)	288(3.7%)	95(12.5%)	59(62.1%)
藤塚	5,220	1,073(20.6%)	501(9.6%)	173(16.1%)	94(54.3%)
赤池南	1,983	289(14.6%)	137(6.9%)	38(13.1%)	24(63.2%)
浅田平子	2,221	379(17.1%)	199(9.0%)	67(17.7%)	48(71.6%)
竹の山	4,306	260(6.0%)	124(2.9%)	44(16.9%)	32(72.7%)
米野木台	4,387	170(3.9%)	69(1.6%)	19(11.2%)	12(63.2%)



日進市の将来人口推計



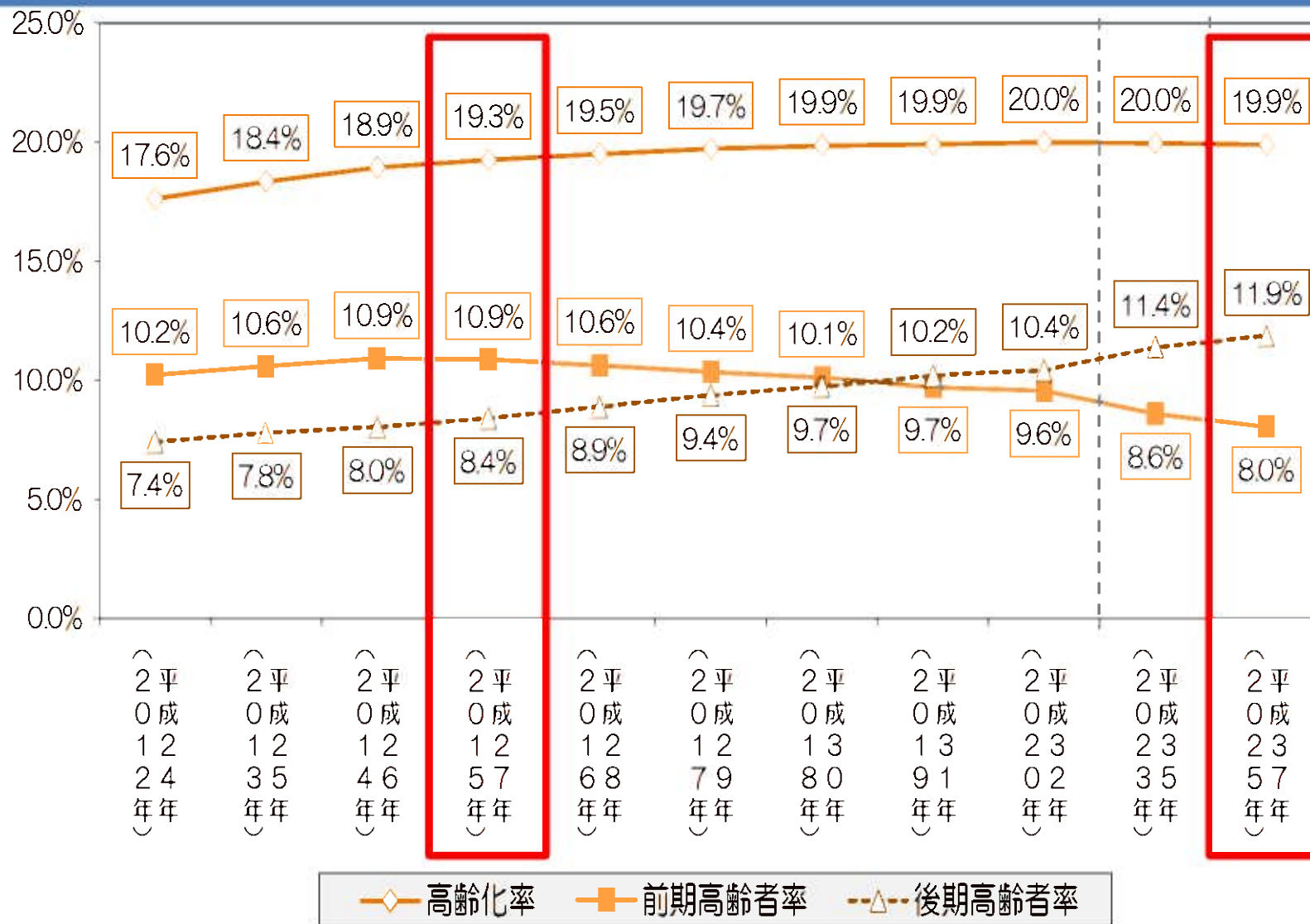
○2040年に向けて、年少人口（15歳未満）や生産年齢人口（15～65歳）は
いったん減少に向かうが、老年人口（65歳以上）は増加を続ける。



出典：
日進市人口
ビジョン・
総合戦略



高齢化率の推移



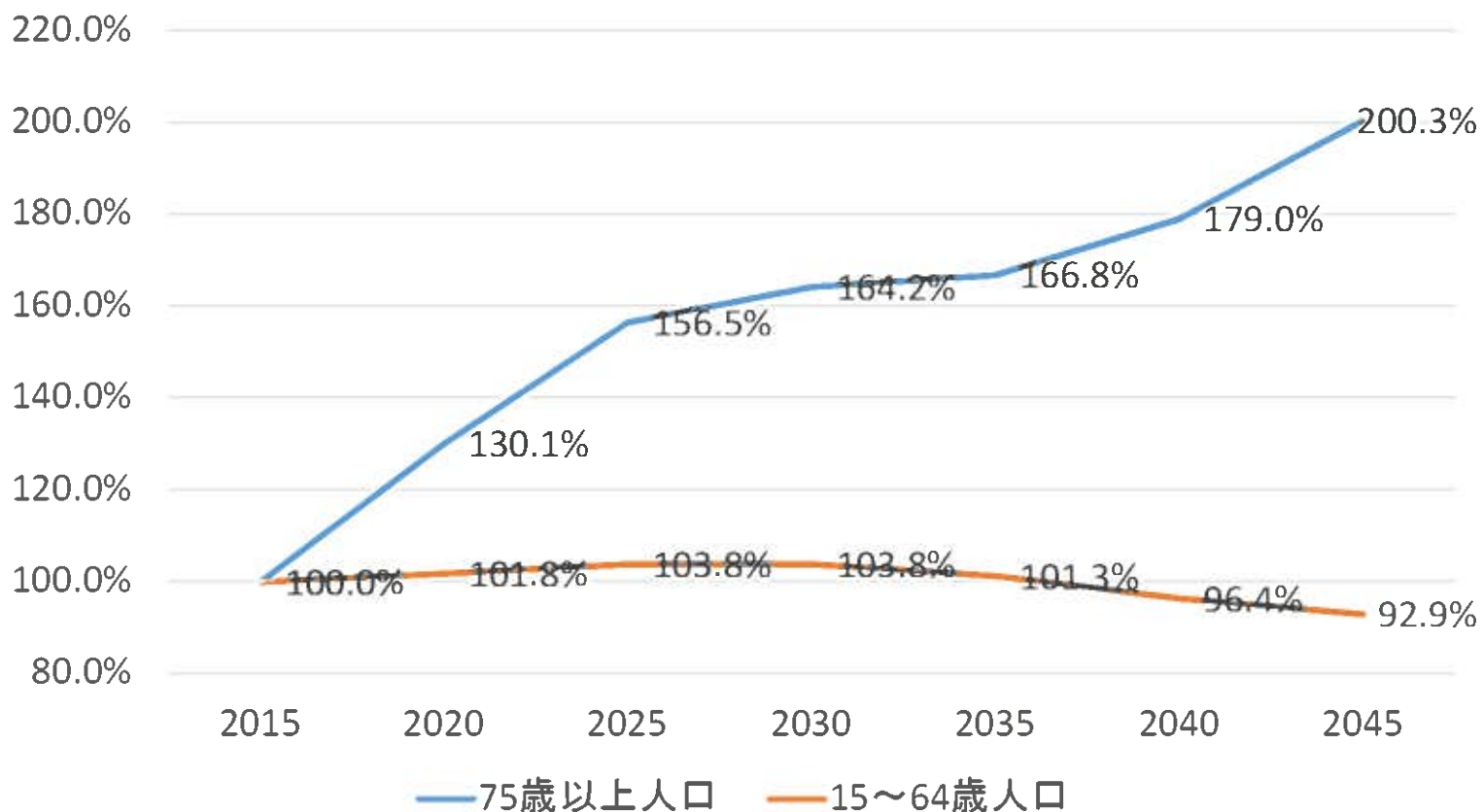
出典：第7期日進市高齢者ゆめプラン



(参考) 日進市の人口推移 (2015年を100とした場合)



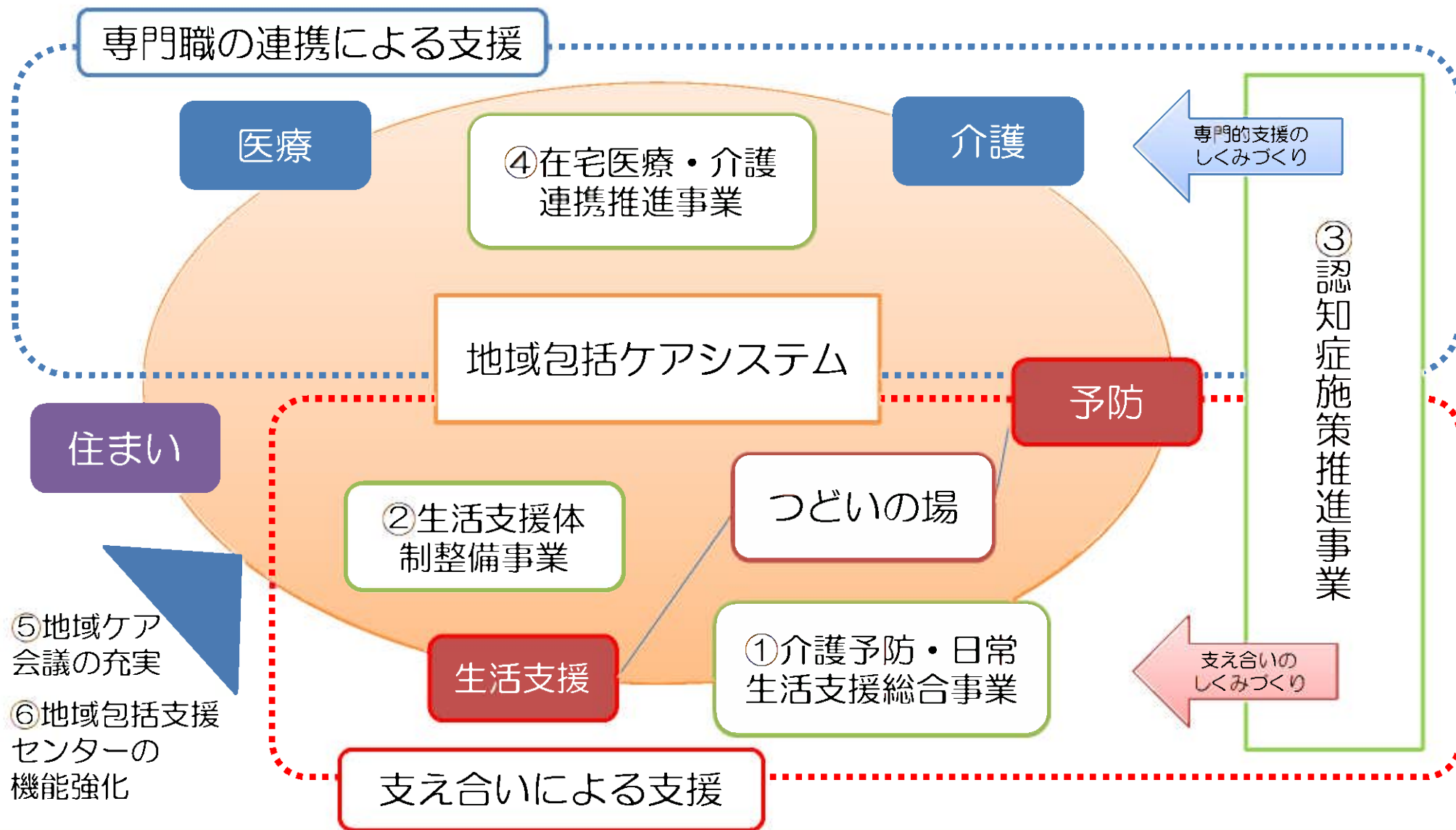
- 要介護リスクが高くなる後期高齢者（75歳以上）人口は、2045年まで上昇を続ける。
- 生産年齢（15-64歳）人口は2035年までほぼ横ばい、その後減少。後期高齢者人口とのギャップは大幅に拡大。
- それに加え、単身世帯・高齢者のみ世帯が増加すれば、生活支援ニーズは増加。



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」
※2015年を100とした場合の2045年までの推計値



日進市地域包括ケアシステムについて





介護予防・日常生活支援総合事業



介護予防・日常生活支援総合事業

一日進市高齢者の状態像と施策イメージ



平成30年7月末日時点の人口等による推計値

【認定者等】

2,701名
(15.0%)

要介護認定者

…1,805名

介護給付

要支援認定者等

…896名

予防給付

+①介護予防・生活支援サービス事業

【非認定者】

15,253名
(85.0%)

隠れ認定者
(事業対象者)

3,462名

(推計値：22.7%)

※H27二次予防事業対象者把握事業による推計値

- ・要介護状態等となることの予防・状態軽減・悪化防止
- ・専門的以外の多様なサービスの充実

一般高齢者

11,791名

(推計値：77.3%)

②一般介護予防事業

- ・介護予防施策の充実
- ・住民主体の通いの場充実

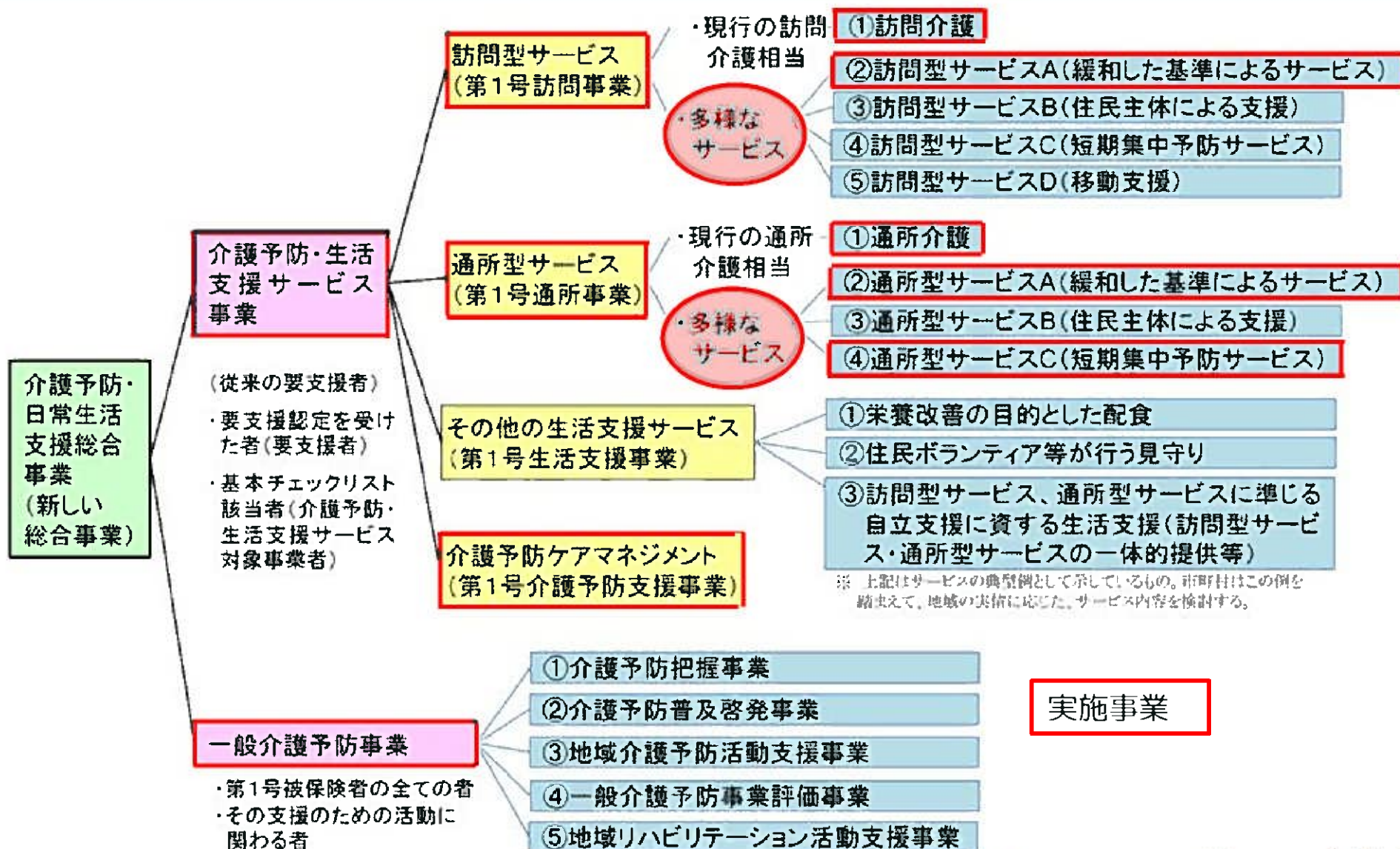
【全体】

17,954名
(100.0%)

総合事業



介護予防・日常生活支援総合事業 実施状況



出典「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン」



介護予防・生活支援サービス事業 実施状況

－訪問型サービス・通所型サービス－



	国のガイドライン類型	実施時期	サービス提供者	実施方法
訪問型サービス	<u>現行の訪問介護相当</u> (現行相当サービス)	平成28年10月から	指定事業者 (みなし指定・新規指定)	事業者指定
	<u>訪問型サービスA</u> (緩和した基準によるサービス)	平成28年10月から	指定事業者 (新規指定)	事業者指定
	訪問型サービスB (住民主体による支援)	検討中	—	—
	訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	検討中	—	—
	訪問型サービスD (移動支援)	検討中	—	—

	国のガイドライン類型	実施時期	サービス提供者	実施方法
通所型サービス	<u>介護予防通所介護相当サービス</u> (現行相当サービス)	平成28年10月から	指定事業者 (みなし指定・新規指定)	事業者指定
	<u>通所型サービスA</u> (緩和した基準によるサービス)	平成28年10月から	指定事業者 (新規指定)	事業者指定
	通所型サービスB (住民主体による支援)	検討中	—	—
	<u>通所型サービスC</u> (短期集中予防サービス)	平成28年10月から	委託事業者	委託

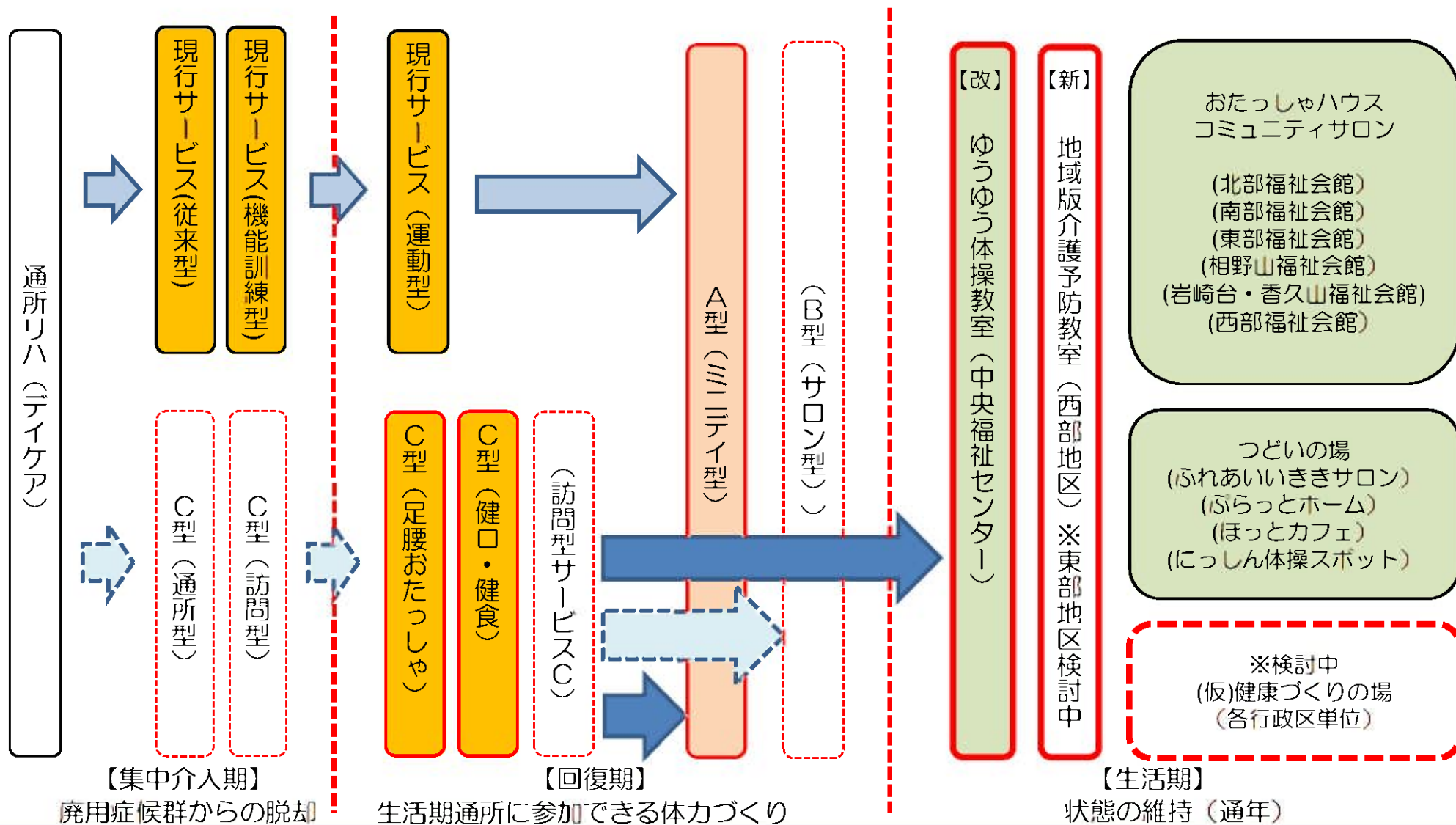


介護予防事業に係る事業展開のイメージ



<介護予防・生活支援サービス事業>

<一般介護予防事業>





通所型サービスC（足腰おたっしゃクラブ）



（1）足腰おたっしゃクラブ（運動器の機能向上事業）

理学療法士指導による健康講座、個別運動指導・集団運動指導を行う教室で、1教室3ヶ月（全12回）で構成し、最長2教室（6ヶ月）で生活機能の改善を図ります。

<平成30年度実績>

①日進ホーム教室

日 程：1新規：平成30年4月～6月（12名）

2継続：平成30年7月～9月（9名）

対 象：要支援者、事業対象者

会 場：日進ホーム

②愛泉会教室

日 程：1継続：平成29年4月～6月（11名）

2新規：平成29年7月～9月（17名）

対 象：要支援者、事業対象者

会 場：日進市中央福祉センター等



平行棒を取り入れた機能訓練の様子



通所型サービスC（健口健食元気クラブ）



（2）健口健食元気クラブ（栄養・口腔機能向上事業）

管理栄養士や歯科衛生士指導による栄養・口腔機能改善に関する健康指導と運動メニューによる6ヶ月間（全10回）の教室で、生活機能の改善を図ります。

<平成30年度実績>

①名古屋学芸大学

日 程：平成30年4月13日～平成30年9月7日

対 象：要支援者、事業対象者

参加者：7名

会 場：名古屋学芸大学6号館

【前期教室概要】

項目	講数	講師
測定・評価等	3	管理栄養士 歯科衛生士
栄養メニュー	3	
口腔メニュー		
運動メニュー	3	健康運動指導士
音楽療法メニュー	1	音楽療法士



栄養管理に関する講座の様子



一般介護予防事業 ①



(1) ゆうゆう体操教室（運動器の機能向上事業）

理学療法士や愛知県介護予防リーダー講師による体操教室

＜平成30年度実績＞

日 程：原則、毎月第1～4金曜日 午前10時から11時頃

対 象：日進市在住の高齢者

登録者：85名（平成30年9月末時点）

会 場：日進市中央福祉センター多機能室

講 師：①1週目…理学療法士（リハメール日進）

②2週目…介護予防リーダー（中部圏域）

③3週目…介護予防リーダー（東部圏域）

④4週目…介護予防リーダー（西部圏域）

内 容：準備体操（約5分）：にっしん体操（ゆったり版） ゆうゆう体操の様子

共通メニュー（約30分）：ストレッチ・軽運動メニュー

独自メニュー（約10分）：棒体操、認知症予防メニュー等



(2) にこにこ体操教室（地域版介護予防教室。運動器の機能向上事業）

日常生活圏域における、作業療法士等講師による体操教室

＜平成30年度実績＞

日 程：毎月第1水曜日 午前10時30分から11時30分

登録者：18名（平成30年9月現在）



一般介護予防事業 ②



(3) 介護予防サポーター養成事業（予定）

地域における介護予防事業のスタッフとして活動できるサポーターを養成

開講時期：平成31年2月から3月の全3回

活動の場：ゆうゆう体操教室、にこにこ体操教室、おたっしゃハウス等

(4) ふれあいいきいきサロン等支援事業

地域においてボランティアにより実施する「ふれあいいきいきサロン」等に講師を派遣

<平成30年度実績>

ア	理学療法士（転倒予防教室）	派遣回数	7回
イ	音楽療法士（音楽療法）	派遣回数	5回
ウ	回想法講師（グループ回想法）	派遣回数	7回
エ	栄養士（栄養講座）	派遣回数	5回

（平成30年9月末時点）



一般介護予防事業 ③



(4) 地域出前講座

認知症になっても住み慣れた家で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域における認知症に対する理解を深めるため、医師による認知症講座を開催した。

<平成30年度実績・予定>

①藤枝区

日 時：平成30年9月15日（土）

講 師：宮川 浩一 氏（みやがわクリニック院長・東名古屋医師会日進支部長）

②折戸区

日 時：平成30年9月22日（土）

講 師：恒川 敬和 氏（つねかわファミリークリニック院長・東名古屋医師会日進支部副支部長）

③南ヶ丘区

日 時：平成30年12月8日（土）

講 師：伊藤 志門 氏（アガペクリニック院長）

④岩崎台区

日 時：平成31年1月26日（土）

講 師：横川 俊樹 氏（うかいクリニック）



一般介護予防事業 ④



(5) 第1回介護予防講演会

日 時：平成30年10月31日（水）

講 師：武地 一 氏（藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科教授）

テ ー マ：認知症になっても暮らしやすい地域～わたしが認知症になったとき～

参加者数：153人

第2回介護予防講演会（予定）

日 時：平成31年2月15日（金）

テ ー マ：介護・認知症予防に向けた回想法～なつかしい話に花を咲かせましょう～

(6) 認知症等予防事業

オープン回想法

65歳以上の高齢者を対象に、福祉情報センターにおいて、グループ回想法を自由参加形式で実施した。

・開催回数 25回（平成30年9月末時点）

(7) 介護支援ボランティア事業

高齢者の地域貢献および介護予防を図るため、高齢者が指定のボランティア活動を行った場合に活動実績に応じてポイントを付与し、貯まったポイント数を交付金等に交換する事業を実施した。

<平成30年度実績>

ボランティア登録人数 123人（平成30年9月末時点）



生活支援体制整備事業



生活支援体制整備事業

—協議体構築に向けた展開イメージ—



生活支援体制整備に関する検討部会
(第1層協議体)

にっしん地域支え合い円卓会議

連携

管理者会・連絡会等
(居宅)

役員会・幹事会等
(老人クラブ)

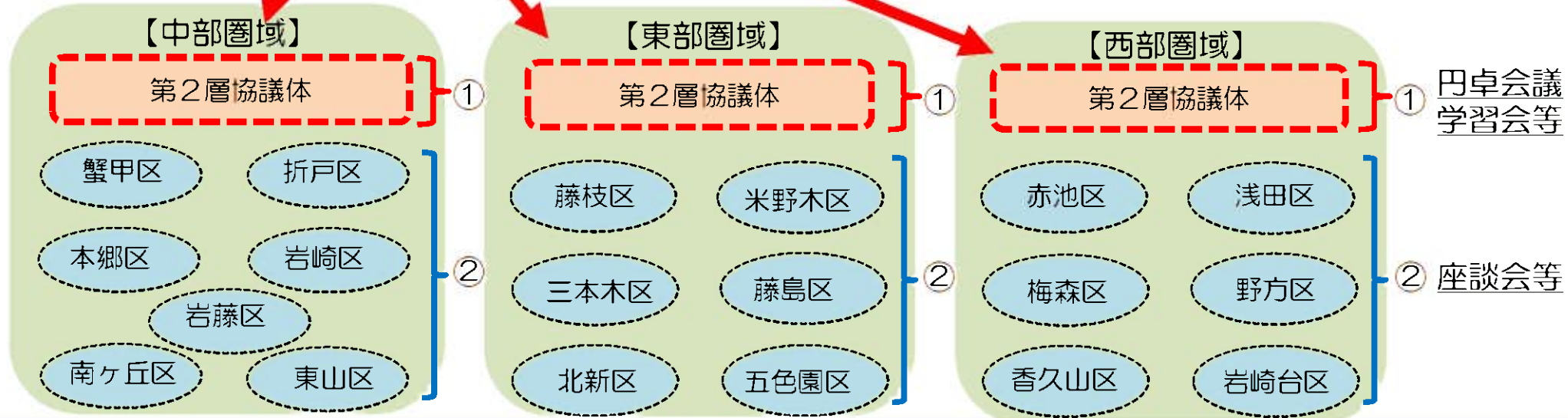
地区ケア会議等
(民生委員)

など

【各関係機関会議】

地域づくりに向けた事業展開

【体制づくり】
①第2層協議体・・・圏域での情報共有や体制づくり
②地域単位の協議の場・・・地域での情報共有や体制づくり





生活支援体制整備事業

—生活支援コーディネータ・協議体—



(1) 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

①第1層生活支援コーディネーター

市全域への生活支援サービスの開発・普及や基盤整備を推進する役割

【団体】日進市社会福祉協議会（富岡、山田）

【時期】平成28年7月～

②第2層生活支援コーディネーター

各日常生活圏域の生活支援サービス提供団体間の連携協働を促進する役割

【団体】中部地区…(有)はじめの一步（荒川）

東部地区…(特非)介護サービスさくら（村居）

西部地区…(株)アンジュ（池谷）

【時期】平成28年10月～



(2) 協議体の設置

①第1層協議体（地域包括ケア検討会議の部会として立上げ）

【役割】市全域でのサービス・資源の開発や基盤整備

【時期】平成29年1月～ ※にっしん地域支え合い円卓会議も継続。

②第2層協議体

【役割】サービスを提供するための日常的な連携や調整

【時期】平成30年度中の立上げに向けて検討中





生活支援体制整備事業

—地域支え合い円卓会議等—



<平成30年度実施状況>

○第2回にっしん地域支え合い円卓会議—地域の支え合いに関する講演会—
地域関係者を対象に今後の地域における支え合いについて勉強会を開催。

①内 容 ・講演『市民が主体となる地域の助け合い・支え合いのしくみづくり』

講師：服部 真治氏（医療経済研究機構）

・日進市における生活支援体制整備事業について（日進市）

②日 程：平成30年7月15日（日）

③参加者：90名

市議会議員、市職員、日進市社会福祉協議会職員

地域包括支援センター職員、

生活支援コーディネーター（第1層・第2層）

区長、自治会長、民生委員、老人クラブ役員

地域で活動しているNPO関係者 等

○第2回にっしん地域支え合い円卓会議—地域の支え合いに関する講演会—

①内 容 ・講演『第2層協議体とは～どうして必要？どんなことをするの？～』

講師：平野 隆之氏（日本福祉大学社会福祉学部教授）

・模擬“協議体”

②日 程：平成30年11月10日（土）



生活支援体制整備事業

—地域支え合い円卓会議等—



<平成30年度実施状況>

○生活支援体制整備事業に関する個別説明

各行政区、老人クラブ等に出向き、個別の説明会を開催。

- ①内容 ・生活支援体制整備事業の背景、地域での助け合いについて
 第2層協議体の立上げについて
- ②時期 平成30年6月～11月



認知症施策推進事業



認知症施策推進事業

—認知症地域支援・ケア向上事業—



○認知症地域支援・ケア向上事業

平成30年4月から認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護等の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

(1) 認知症の人を支援する関係者の連携促進

- ・関係者とのネットワーク構築（地域包括・医療機関・介護事業者・地域支援者等）
- ・認知症ケアパスの作成・普及
- ・地域包括への対応力向上のための支援

(2) 認知症の人とその家族を支援する相談体制や支援体制の構築

- ・相談支援
- ・認知症初期集中支援チームとの連携

(3) 事業実施に関する企画

- ・病院・施設等での認知症対応力向上を図るための支援事業
- ・事業所等での在宅生活継続のための相談・支援事業
- ・認知症の人の家族に対する支援事業
 - ⇒認知症家族交流会、認知症カフェ等の充実
- ・認知症ケアに携わる多職種協働のための研修事業

認知症初期集中支援チーム、在宅医療・介護連携支援センターや既存関係機関（地域包括支援センター等）と連携し、認知症支援・ケア向上に係る体制強化を図る。



認知症施策推進事業

—認知症地域支援・ケア向上事業—



○認知症家族交流会

認知症のご家族を介護されている方を対象に、介護知識の取得や仲間づくりを目的に開催。

- ①日程：毎月第2水曜日 午後1時30分～同3時30分
- ②会場：日進市中央福祉センター
- ③参加者数：延べ62名（平成30年4月～平成30年9月）



○認知症カフェ

本人やその家族、知人、地域の方、専門職等の誰もが自由に集いお互いから、認知症やその対応についての理解を深め相談ができる場として市内4箇所にて開設。

【オレンジカフェむつみ】

- ・開催日時
毎月第2水曜日 午前9時から正午まで
- ・場所
グループホーム むつみ苑

【you,l café あい工房】

- ・開催日時
毎週月曜日 午前9時から正午まで
- ・場所
あい工房 いきいきルーム

【N - cafe】

- ・開催日時
毎月第2火曜日 午前10時から正午まで
- ・場所
スターバックスコーヒー 日進香久山店

【わいわいカフェ】

- ・開催日時
毎月第2日曜日 午前10時から午後3時まで
- ・場所
はじめの一步デイサービス

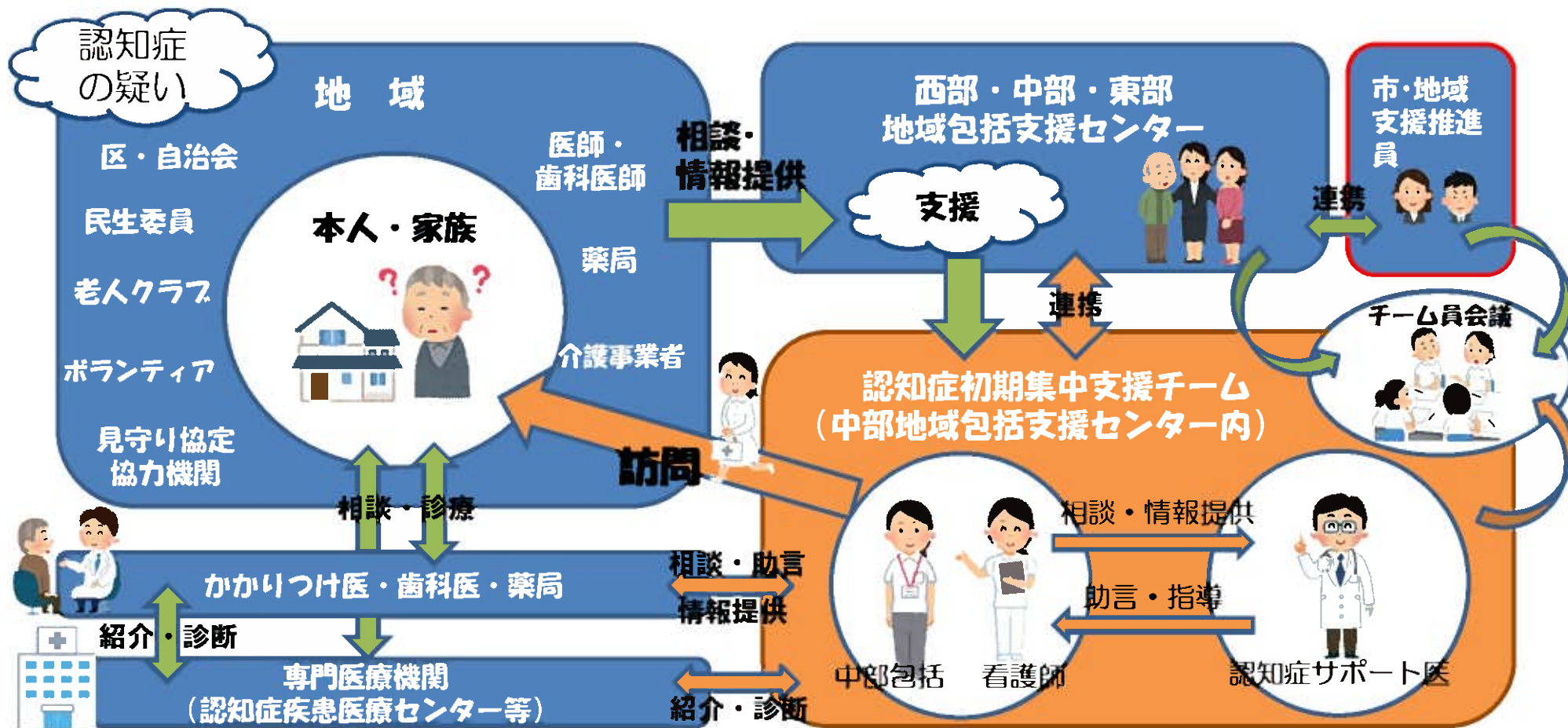


認知症初期集中支援チーム「やさしい手にっしん」



・ 認知症地域支援推進員

- ◆ 早期診断・ 早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。
- ◆ 複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行う。





認知症初期集中支援チーム員の構成



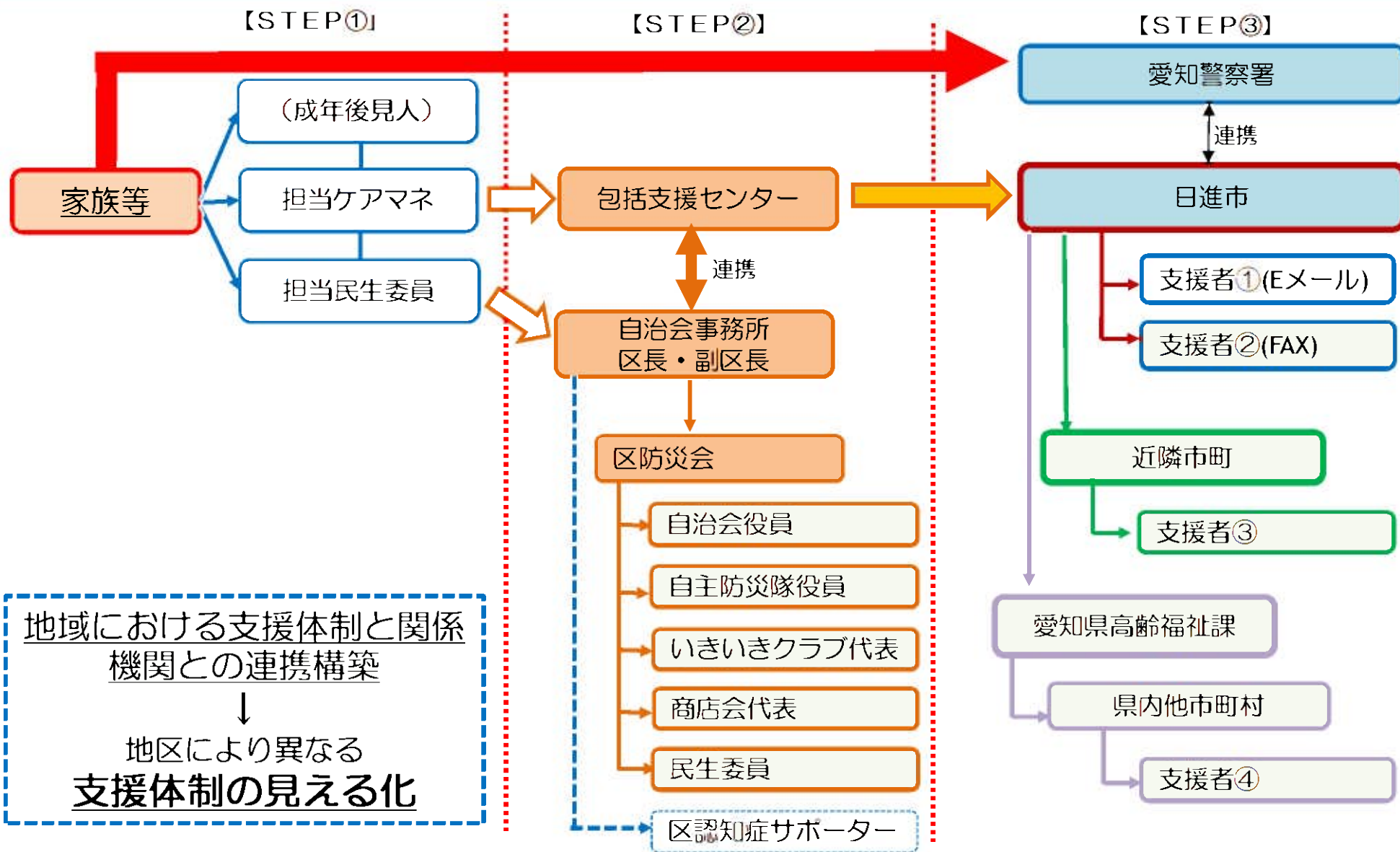
◆認知症初期集中支援チーム員は、以下の表に掲げる専門職3名、医師1名の計4名で構成する。

設置場所	専門職 (介護系・2名)	専門職 (医療系・1名)	医師
中部地域包括 支援センター	中部地域包括支援 センター職員	訪問看護ステーション 心のポケット (看護師)	日進おりど病院 (認知症サポート医)



認知症施策推進事業

—地域における見守り体制の構築 五色園地区の例—





在宅医療・介護連携推進事業



在宅医療・介護連携推進事業

－8つの取組－



- (ア) 地域の医療・介護の資源把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築
推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携



(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

在宅医療・介護連携システム「健やかにっしんヘルピーネット」の導入 (平成28年4月)



電子@連絡帳導入実績 (尾張東部医療圏)

平成30年10月1日

市町名等	豊明市	長久手市	日進市	東郷町	瀬戸旭医師会	
管内人口(9月1日現在)	68,691人	58,043人	90,403人	43,614人	213,078人	
運用開始年月	平成23年10月	平成24年9月	平成28年2月	平成27年12月	平成26年4月	
時点	9月現在	9月現在	9月現在	9月現在	9月現在	
登録機関	167機関	144機関	106機関	69機関	340機関	
登録ID	356人	212人	200人	125人	675人	
登録患者数	689人	601人	175人	52人	1,000人	
記事の累積	15,260件	20,541件	1,619件	1,550件	28,548件	
登録患者1人当たりの記事数	22件	34件	9件	30件	29件	
主な登録機関の内訳	クリニック・病院 登録数/総機関数(導入率)	31/38(82%)	36/40(90%)	21/59(36%)	20/23(87%)	49/113(43%)
	歯科医院	11/30(37%)	7/25(28%)	32/46(70%)	7/17(41%)	21/103(20%)
	薬局	19/25(76%)	11/18(61%)	22/35(60%)	7/13(54%)	38/107(36%)
	訪問看護ステーション	18(市内100%)	14(市内100%)	5(市内100%)	3/4(75%)	23/23(100%)
	地域包括支援センター	3/3(100%)	2/2(100%)	3/3(100%)	2/2(100%)	8/8(100%)
	居宅介護支援事業所	27(市内100%)	11(市内100%)	14(市内65%)	8/10(80%)	56/59(95%)
	訪問介護(ヘルパー)	3/5(60%)	9(市内55%)	0/21(0%)	3/6(50%)	31/72(43%)



(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

日進市在宅医療・介護連携支援センター「やまびこ・日進」



- ◆地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談の受付を行う。
- ◆必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、利用者・患者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関・介護事業者相互の紹介を行う。





日進市在宅医療・介護連携支援センターの運営



◆日進市在宅医療・介護連携支援センターは、以下の表に掲げる構成で運営する。

設置場所	運営	専門職員 (常勤)	特徴
日進市中央 福祉センター 2階	東名古屋医師会	医療又は介護に 関する知識を有 する者	<ul style="list-style-type: none">・医療介護総合研究センター (東名古屋医師会 自主事業)・長久手市在宅医療・介護連携 支援センター との協働・連携を図る。 (一体的運営)

お問い合わせ

〒470-0122 日進市蟹甲町中島22番地
電話：0561-75-5512 FAX：0561-75-5517
E-mail yamabiko-ni@mb.ccnw.ne.jp



(キ) 地域住民への普及啓発



地域出前講座（再掲）

テーマ：「認知症になっても住み慣れた家で安心して暮らすには」

地域への出前講座（市内19行政区において順次開催）

<平成30年度実績・予定>

①藤枝区

日 時：平成30年9月15日（土）

講 師：宮川 浩一 氏（みやがわクリニック院長・東名古屋医師会日進支部長）

②折戸区

日 時：平成30年9月22日（土）

講 師：恒川 敬和 氏（つねかわファミリークリニック院長・東名古屋医師会
日進支部副支部長）

③南ヶ丘区

日 時：平成30年12月8日（土）

講 師：伊藤 志門 氏（アガペクリニック院長）

④岩崎台区

日 時：平成31年1月26日（土）

講 師：横川 俊樹 氏（うかいクリニック）





地域ケア会議の充実

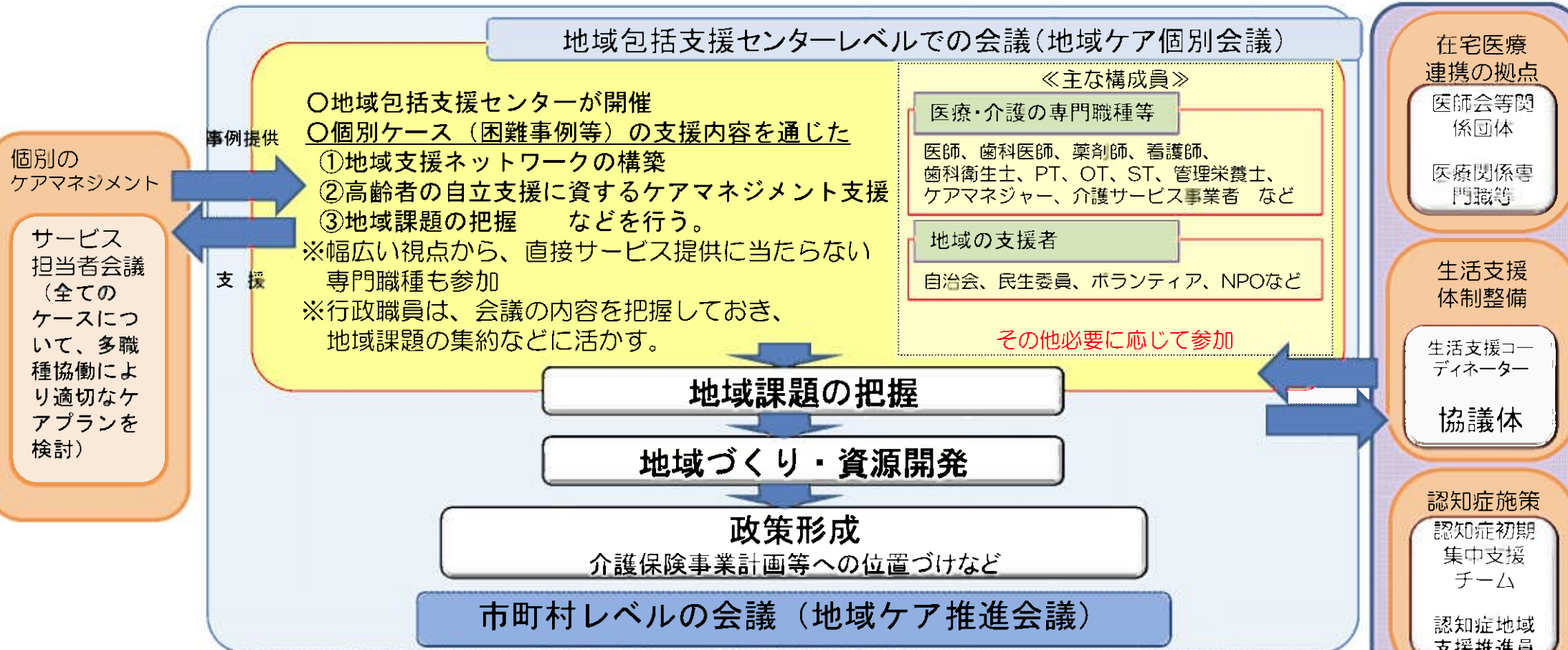
地域ケア会議の推進

地域包括支援センター等において、多職種協働による個別事例の検討等を行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進する。

※従来の包括的支援事業(地域包括支援センターの運営費)とは別枠で計上

(参考)平成27年度より、地域ケア会議を介護保険法に規定。(法第115条の48)

- 市町村が地域ケア会議を行うよう努めなければならない旨を規定
- 地域ケア会議を、適切な支援を図るために必要な検討を行うとともに、地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行うものとして規定
- 地域ケア会議に参加する関係者の協力や守秘義務に係る規定 など



・地域包括支援センターの箇所数: 4,484ヶ所(センター・ブランチ・サブセンター合計7,196ヶ所)(平成25年4月末現在)

・地域ケア会議は全国の保険者で約8割(1,207保険者)で実施(平成24年度末時点)



個別地域ケア会議（中部地区）開催状況



平成29年度実績

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
中部地区	9回	7件	2件	0件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	日常生活支援と見守り体制について	○		
2	地域で安全に生活するために	○		
3	認知症、徘徊がある方の在宅介護支援、今後について	○		
4	難聴と認知症がある一人暮らしの高齢女性の地域での生活を継続させるために		○	
5	行方不明リスクのある高齢者が地域で安全に暮らし続けるために	○		
6	地域での一人暮らしを支えるために	○		
7	在宅生活継続のための見守りや支援を検討する	○		
8	経済困窮状態にある高齢者が地域で安全に暮らし続けるために	○		
9	地域で安心安全に楽しく一人暮らしを続けるために		○	



個別地域ケア会議（東部地区）開催状況



平成29年度実績

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
東部地区	12回	4件	6件	2件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	認知症状のある高齢者世帯が住み慣れた地で生活を続けていくには		○	
2	近くに親族がなく心臓疾患があり不安を抱えながら生活している高齢者を支えるには		○	
3	誤った情報を地域に提供し、地域住民を混乱させてしまう高齢者を地域で支えるには		○	
4	制度の理解ができず、関係機関へ一方的な苦情相談をする方の対応		○	
5	幻覚があり負担症状の大きい一人暮らしの高齢者を支えていくには		○	
6	被害妄想が強く独居への不安が増している高齢者を支えていくには	○		
7	妄想性障害（被害妄想がある）により妄想が拡大する高齢者を支援するには			○
8	近隣者に対して問題行動をとることで、地域から孤立している独居の方を支えるには			○
9	近くに親族がなく、透析を受けながら一人暮らしを送る高齢者を地域で支えるには		○	
10	長男からの暴言や監視により自由がなくなった高齢者を地域で支えるには	○		
11	一人暮らしに不安を抱えている方を地域で支えていくには	○		
12	夫の束縛から精神不安定となってしまった認知症高齢者を地域で支えていくには	○		



個別地域ケア会議（西部地区）開催状況



平成29年度実績

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
西部地区	9回	7件	1件	1件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	子がおらず親族の支援も望めない高齢者世帯を地域で支える	○		
2	認知症のある母親と精神疾患のある長男の支援	○		
3	徘徊がある母と息子の生活を支えていくには	○		
4	キーパーソン不在の高齢者世帯の支援①	○		
5	他市から転居し地域とのつながりが薄い一人暮らし高齢者を支える		○	
6	徘徊症状のある高齢者、同居家族が地域とのかかわりが薄いケースの支援	○		
7	不安の強い一人暮らし高齢者の支援			○
8	不安、訴えの強い一人暮らし高齢者への支援～地域、関係者の連携強化～	○		
9	キーパーソン不在の高齢者世帯の支援②	○		